

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-12)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい書写 一・二・三年
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、3年間で身につける内容として、単元ごとに何をどのように学ぶかを示した『書写のかぎ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、単元ごとにその途中や終末で学習するポイントを確認する『書写のかぎ』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会生活で活用する学習課題が各学年に配置されており、巻頭の『書写で学ぶこと』にまとめて掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、『本のポップを書こう』などの他者との関わりを表す学習課題が例示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、学校内外の人々との交流が教材として取り上げられており、案内状を書く活動などが例示されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、地域行事や職場訪問などについて学習活動や読み物が設定され、『書写活用ブック』には、礼状の書き方などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『目標』や『見つけよう』など学習の流れが示された『書写の学習の進め方』が巻頭に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、『文字のいずみ』で文字の成り立ちやその歴史が示されるなど、他教科と関連する教材には『教科関連マーク』が付けられている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、情報を整理したノートやレポートの書き方、効果的なメモの書き方などの学習活動が、各学年の基本単元や『書写活用ブック』に例示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、多様な文字文化について示されたコラム『文字のいずみ』が掲載されている。『書き初め』の模範例が示されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、保育園への職場訪問や本のポップの制作などが各学年の『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校の書写の復習が設定され、最後の単元に高等学校の芸術としての書道につながる『古典をもとに』が設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、職場訪問のレポートの書き方などが『書写活用ブック』に記載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で筆の動きが表現され、教材ごとに文字を正しく書くためのポイントが示された『書写のかぎ』が設定されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の見通しについて、左ページに大きな手本、右ページに『目標』『書写のかぎ』『確かめよう』がまとめて示されるなど、単元が見開き2ページで構成されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、行書を毛筆と硬筆で書いたときの筆順の変化が同じであることを確かめる学習などが『筆順の変化』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、基本点画や行書特有の4つの筆の動き(『二』『口』『十』『人』)が、朱墨やイラストで表され『確かめよう』で例示されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる観点について、行事の案内など知識・技能を活用する学習活動が、『生活に広げよう』や『書写活用ブック』などで例示されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容が掲載されたページと、手紙や新聞、リーフレットなどの書き方、解説が掲載された『書写活用ブック』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『ゴシック体には、見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-12)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	現代の書写 一・二・三
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、文字文化を理解する資料とともに、基礎的・基本的な学習内容を示した『書き方を学ぼう』が教材の冒頭に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、毛筆書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用する学習活動として『やってみよう』が設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用する『書いて身につけよう』や『やってみよう』が設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、詩人・谷川俊太郎『朝のリレー』や歌手・森山直太朗の『さくら(独唱)』など、他者との関わりを表す言葉が教材として示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、教員や友達とやり取りした言葉などから名言集を作る活動などが『名言集を作ろう』に例示されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、文字に関わる仕事を紹介する内容が『達人』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『学習の流れ』が、巻頭の『この教科書で学ぶ皆さんへ』や『やってみよう』で示されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科のノートの書き方、情報誌の作成など、他教科と関連する学習課題が『書いて身につけよう』などに設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、グループ新聞や情報誌、名言集などの制作や記事を互いに推敲したり、作品を読み合ったりする言語活動が『やってみよう』で例示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、現代まで続く文字の歴史や文化を取り上げた『文字の変遷』や、文字に関わる仕事で活躍する人物の紹介が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、書写で学習したことを用いて新聞や情報誌などを書く学習活動が、各学年末の『やってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、冒頭に姿勢や筆の持ち方などを示した『基礎編』が設定され、最終単元に高等学校の書道につながる『書の古典』が設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書写で学習したことを用いて情報を整理し、まとめる学習活動が例示された『やってみよう』が各学年に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、筆順に番号をつける、部首を色分けするなどして学習内容が示された『書き方を学ぼう』が各単元に設定されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の見通しについて、見開きで構成された右側のページに、学習のポイントが示された『書き方を学ぼう』が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書いて確かめた内容を繰り返し活用することによって、日常の硬筆での書字に用いる『書いて身につけよう』が各単元に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、毛筆の行書での穂先の動きが濃淡の墨で示され、筆脈はイラストで示されている。文字を正しく整えて速く書く仕事の『達人』が紹介されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる観点について、書写で学んだことを日常の多様な「書く」場面で用いる『書いて身につけよう』や『やってみよう』が設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容が掲載された『本編』と社会生活で役立つ『日常の書式』、楷書・行書一覧表などが掲載された『書写の広場』などの『資料編』とで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、ユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-12)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、教材として例示された文字の特徴が、イラストや吹き出し、朱墨、図表などを用いて、『生かそう』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、レポートを書いたり俳句を書いたりする日常生活や学校生活に用いる『学習を生かして書く』が設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、3年間の書写で学習した内容について系統的にまとめた『書写をとおして学んでいくこと』が巻頭に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、他者との関わりを表す『感謝』や『友好の精神』などの言葉が教材として示されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、地域での学習活動や謝辞の文例が示され、新年の抱負として『友と語る』が書き初めの語句例として示されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、講師への礼状や清掃活動を呼び掛けるポスターを書く活動が設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、各教材には自分で課題を発見・解決する活動や話し合い活動が例示されており、学習の手順が巻頭の『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、書写で学んだことを他教科で用いる学習活動について、各学年の『学習を生かして書く』などに例示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、情報を整理してポスターやレポートを書き、相手に応じた内容の伝え方を考える学習活動などが『学校生活に生かして書く』などに示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、『文字の変遷』や『日本建築と書』、『芸術としての書道』が『コラム』などに掲載され、『書き初め』の模範例が巻末に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、お薦めの本の帯やポップを、レイアウトや書体を工夫して書く活動などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校の学習内容『基本点画』が設定され、高等学校の書道につながる行書学習の導入として名筆『風信帖』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、分類メモなどから観察・取材レポートや新聞を書く『学習を生かして書く』などが設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、写真やイラスト、番号などを用いて学習の流れが示された『学習の進め方』が巻頭に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の見通しについて、教材ページは見開きで構成され、写真やイラストでポイントを示した『考えよう』が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆学習の成果が硬筆学習につながる構成で、『試し書き』(硬筆)、『考えよう』(硬筆・毛筆)、『生かそう』(硬筆)が示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 運筆の能力の育成について、行書の筆づかいや穂先の動き、筆圧などの学習では写真や濃淡の墨、数字、記号などが説明に用いられ、『考えよう』で例示されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立つ観点について、書写で学んだことを用いる『学習を生かして書く』などが設定され、日常で使う手紙などの書式が巻末の『書式の教室』に示されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとの学習内容が掲載されたページと、日常生活で用いる手紙の書き方などが例示された『書式の教室』などの資料ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『画数や筆順が正確に理解できるように配慮した書体を、本文に使用しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを、ゴシック体に使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-12)を参照。

発行者の略称	光村	書名	中学書写 一・二・三年
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、教材ごとに『目標』と『学習を振り返る』が設定され、学習のポイントが箇条書きでまとめられた『学習の窓』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、毛筆の学習を、硬筆で文字を書く時に活用する『学校生活』というコーナーなどが掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、3年間の学習を踏まえた自分の課題について振り返る『確かめよう』などが示されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、『年賀状を書こう』などの他者との関わりを表す教材が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、伝えたいことを読み手を意識し、書写で身に付けた力を活用して書く活動が例示されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、職場訪問をした際の新聞作りが例示されており、漫画家などの座右の銘が『私の好きな言葉』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、巻頭で『三年間の目標』と『学習の進め方』が示されており、最終単元に『三年間のまとめ』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、書写で学習したことを、他の教科や学校行事で用いる『季節のしおり』や『学校生活』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、硬筆で名文を書いて味わう学習活動として、各学年に『季節のしおり』、書写ブックに『名文を書いてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、書写の道具の製造過程の紹介が裏表紙に掲載され、伝統文化や文字文化については『コラム』や『発展』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、書写で学習したことを学校生活に用いる活動が示された『学校生活』や『国語』、『私の好きな言葉』が各学年に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容が示された『学習の始めに』が設定され、高等学校の書道につながる文字の歴史を探る『コラム』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、書写で学んだことを用いて、伝えたいことを整理して書き表す学習活動が『学校生活』などで示されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、半紙大の手本が示されるとともに、毛筆の筆の動きや筆圧が写真やイラストなどを用いて『確かめよう』のコーナーで示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の内容を焦点化して示した『学習の窓』が設定され、毛筆での学習を硬筆での学習に用いる『書写ブック』が付されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆の学習を用いて、硬筆で繰り返し書く学習活動が、『書写ブック』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 運筆の能力の育成について、毛筆の行書特有の穂先の動きや穂先の向きなどが、筆の写真や記号、数字などを用いて『考えよう』や『確かめよう』に示されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立つ観点について、手紙や送り状の書き方など、学校での生活や日常生活で用いる例が掲載され、そのポイントが『日常に役立つ書式』に示されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 楷書、行書、日常の活用などの「教科書」本体と、硬筆書写の「書写ブック」の2分冊で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。』『生徒の学習負担を軽減できるよう、手書き文字との差異が少ない書体を開発し、使用しています。』『目次や小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(書写)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く『知識・技能』を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、3年間で身につける内容として、単元ごとに何をどのように学ぶかを示した『書写のかぎ』のコーナーが掲載されている。第1学年『点画の連続』、第2学年『点画の省略』で行書の特徴や運筆について示され、左ページのインデックスに確認用のなぞり書きが設定されている。また、第3学年『効果的に文字を書こう』では目的に応じた工夫について示されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、文字文化を理解する資料とともに、基礎的・基本的な学習内容を示した『書き方を学ぼう』が教材の冒頭に掲載されている。第1学年『点画の丸み』では『書き方のポイント』が青字で示されている。第2学年『筆順の変化』では筆順に青字で番号をふり、楷書と行書の違いが示されている。第3学年『身のまわりの文字』では文字文化の変遷を確かめる学習活動が設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、教材として例示された文字の特徴が、イラストや吹き出し、朱墨、図表などを用いて、『生かそう』に掲載されている。第1学年では同様の点画等をもつ文字を示し特徴の確認ができるよう構成されている。第2学年では写真やキャラクターの吹き出しを使ってポイントの補足・説明がされている。第3学年の行書学習では濃淡の墨による手本で行書特有の穂先の動きが示されている。
光村	「知識・技能」の習得について、教材ごとに『目標』と『学習を振り返る』が設定されている。第1学年『行書の特徴』では、行書の5つの特徴など学習のポイントが、第2学年『筆順の変化』では模範と同じ漢字が『学習の窓』で示され、変化した筆順が赤字で示されている。第3学年『文字の使い分け』では活字などの使い分けについてまとめられている。
② 未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、単元ごとにその途中や終末で学習するポイントを確認する『書写のかぎ』が掲載されている。第1学年では学習の振り返りで『書写のかぎ』を確認する『かぎマーク』が示されている。第2学年『楷書と行書の使い分け』、第3学年『書き手の意図と表現』では文字の効果的な活用を考える場面で『書写のかぎ』が示されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年はグループ新聞、第2学年は情報誌、第3学年は名言集を制作する活動など、毛筆書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用する学習活動として『やってみよう』が設定されている。教科書の巻末には、はがきの宛名や時候の挨拶、送り状の書き方などが『資料編』に収録されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、レポートを書いたり俳句を書いたりする日常生活や学校生活に用いる『学習を生かして書く』が設定されている。第1学年では校庭の植物観察レポートを書く活動、第2学年では枕草子を硬筆で書く活動、第3学年では小筆で短冊に俳句を書く活動など、課題について考え、解決する『課題解決型』の学習の流れが設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、毛筆の学習を、硬筆で文字を書く時に活用する『学校生活』というコーナーなどが掲載されている。書写学習で学んだことを他教科の学習で活用することとして、第1学年では目標やスローガン、第2学年では本の帯や看板、第3学年では冊子づくり等の学習課題が設定されている。巻末『日常に役立つ書式』では、社会生活での活用場面が示されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会生活で活用する学習課題が各学年に配置されており、巻頭の『書写で学ぶこと』にまとめて掲載されている。第1学年で楷書と行書の基礎の学習から職場訪問の手紙、第2学年で行書と仮名の学習から場面や目的に応じた文字の書き方、第3学年で多様な文字文化の学習から手書き文字の効果学ぶなどの学習場面が設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用する『書いて身につけよう』や『やってみよう』が設定されている。第1学年、第2学年『書いて身につけよう』では文字の配列を意識してはがきを書く活動や47都道府県を硬筆行書で書く活動が設定されている。第3学年『やってみよう』では前単元『文字文化の豊かさ』を踏まえ『名言集』を作る活動が設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、3年間の書写で学習した内容について系統的にまとめた『書写をとおして学んでいくこと』が巻頭に掲載されている。第1学年では楷書と仮名の調和や文字を正しく整えて速く書く力、第2学年では場面や相手を意識して書く力や行書と仮名を調和させて書く力、第3学年では文字文化の豊かさに触れ、効果的に書く力についての学習活動が設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、3年間の学習を踏まえた自分の課題について振り返る『確かめよう』などが示されている。第1学年『文字の大きさと配列』では読みやすい文字の大きさや配列について、第2学年『筆順の変化』では行書の筆順について、第3学年『三年間のまとめ』ではこれまでの自分の課題について示されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)

東書	[思いやる力]の「共生」について、『本のポップを書こう』などの他者との関わりを表す学習課題が例示されている。第1学年では礼状作成、第2学年では書き初めの教材としての『感謝する心』、第3学年では『書き手の意図と表現』の教材としての『和 思いを一つに』が例示されている。
三省堂	[思いやる力]の「共生」について、詩人・谷川俊太郎『朝のリレー』や歌手・森山直太朗の『さくら(独唱)』など、他者との関わりを表す言葉が教材として例示されている。第1学年では『きずな新聞』、第2学年では教材文字として『親和』、第3学年では友に関する名言が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、他者との関わりを表す『感謝』や『生命の尊重』などの言葉が教材として示されている。教材の説明をするイラストや写真の人物、作品例の名前は性別に偏りなく配置されている。第1学年では防災訓練のお礼状、第2学年では書き初めの教材例として『友好の精神』、第3学年では友人や先生に感謝や友好のメッセージカードを書くなどの活動が例示されている。
光村	[思いやる力]の「共生」について、『年賀状を書こう』などの他者との関わりを表す教材が掲載されている。第1学年『目標を書こう』では『みんなで成長する みんなで感動する』が学級スローガンとして示され、第2学年『壁新聞を作ろう』では地域の保育園への職場訪問をとおして他者との関わりについて例示されている。第3学年ではコラム『UD書体って何だろう』が掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)

東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、学校内外の人々との交流が教材として取り上げられており、第1学年『案内の手紙を書こう』では文化祭への案内状の書き方が、第2学年『防災訓練に参加しよう』では、地域の防災訓練の運営や準備に携わる例が、第3学年『手書き文字の特徴』では、旅行先からの絵はがきなどが例示されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、教員や友達とやり取りした言葉などから名言集を作る活動などが『名言集を作ろう』に例示されている。第1学年『書いて身につけよう』では、季節の便りを書く活動が、第2学年『楷書と行書の使い分け』では、贈り物への礼状を書体を使い分けて書く活動が、第3学年『名言集を作ろう』では先生や友達とやりとりした言葉などから名言集を作る活動が示されている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、地域での学習活動や謝辞の文例が示され、新年の抱負として『友と語る』が書き初めの語句例として示されている。第1学年では『書き初めを書く』で新たな一年の抱負として、毛筆の語句例『友と語る』などが、第2学年の『掲示物(ポスター)に案内を書く』では、地域清掃のポスターが、第3学年では恩師や友だちにメッセージカードを書く活動が例示されている。
光村	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、伝えたいことを読み手を意識し、書写で身に付けた力を活用して書く活動が例示されている。第1学年『文字の大きさと配列』では読み手を意識した活動が、第2学年『壁新聞を作ろう』では職場訪問の依頼状や礼状という具体的場面が、第3学年『冊子にまとめよう』では学校や部活動の魅力を多くの人に伝える冊子づくりが例示されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。

(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)

東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、地域行事や職場訪問などについて学習活動や読み物が設定され、『書写活用ブック』には、礼状の書き方などが掲載されている。第1学年と第2学年の『生活に広げよう』では『職場訪問』と『防災訓練』が教材として配置され、依頼状やポスターの制作など、書写で学んだことを生かす活動が設定されている。第3学年の『文字のいずみ』には文字を仕事にしている人物の読み物が配置されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字に関わる仕事を紹介する内容が『達人』に掲載されている。第1学年では季節の挨拶を含むはがきの書き方についての学習が設定されており、第2学年では楷書と行書を効果的に使い分けて地域の情報誌を作成する活動が設定されている。また、第3学年では看板職人やタイプライターについての読み物が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、講師への礼状や清掃活動を呼び掛けるポスターを書く活動が設定されている。第1学年『手紙を書く』では防災訓練のお礼の手紙文が、第2学年『掲示物(ポスター)に案内を書く』では地域の清掃活動『クリーン大作戦』を呼びかけるポスター制作が、第3学年では自己の成長への思いを込めた書き初め教材『空駆ける夢』が例示されている。
光村	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、職場訪問をした際の新開作りが例示されているとともに、漫画家などの座右の銘が『私の好きな言葉』に掲載されている。第1学年の書き初めでは『将来の夢』が教材文字として示されている。第2学年では職場訪問先の『保育士』の仕事内容などについて壁新聞を書く活動が例示されている。第3学年『私の好きな言葉』ではプロの卓球選手や漫画家の言葉が掲載されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、『目標』や『見つけよう』など学習の流れが示された『書写の学習の進め方』が巻頭に掲載されている。第1学年『行書を書く時の動き』や第2学年『楷書と行書の使い分け』では目標を踏まえ、『見つけよう』で試行錯誤したり友だちと話し合ったりする活動が示されている。第3学年では自分の思いを表す卒業制作について友だちと意見交換をする活動例が示されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、『学習の流れ』が、巻頭の『この教科書で学ぶ皆さんへ』や『やってみよう』で示されている。第1学年『行書の特徴』では、『学習の流れ』に沿って、見開きで行書の特徴が示され、第2学年『行書と楷書の使い分け』では書体について話し合い、書いてみる活動が設定されている。第3学年『名言集を作ろう』では、学んだことを生かし、好きな言葉を書く活動が例示されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各教材には自分で課題を発見・解決する活動や話し合い活動が例示されており、学習の手順が巻頭の『学習の進め方』に掲載されている。第1学年『学習を生かして書く』では『考えよう』でどう書くとよいか考え、話し合う活動が設定され、第2学年『点画の省略』では『衣偏』がどう省略されるか書いてみる活動が設定されている。第3学年では筆ペンで俳句を書く活動が設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭で『三年間の目標』と『学習の進め方』が示されており、最終単元に『三年間のまとめ』が掲載されている。第1学年『行書の特徴』では『①考えよう』で行書の筆使いが楷書との比較で示され、第2学年『楷書と行書の使い分け』では『②確かめよう』で他者と考えを交流する活動が示されている。第3学年では『三年間の目標』に対応した課題が設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、『文字のいづみ』で文字の成り立ちやその歴史が示されるなど、他教科と関連する教材には『教科関連マーク』が付けられている。第1学年『文字のいづみ』では社会科に関連して文字の成り立ちやその歴史について示され、第2学年『防災訓練に参加しよう』では防災学習に関連して防災マップが例示されている。第3学年『仕事の手書き文字』では文字を仕事にしている人が提示されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、理科のノートの書き方、情報誌の作成など、他教科と関連する学習課題が『書いて身につけよう』などに設定されている。第1学年で文字の大きさや配列に関して古典や数字、理科の課題文などが例示されている。第2学年『やってみよう』では地域の魅力を伝える情報誌の作成が例示され、第3学年では文字に関わる仕事の『達人』について読み物が設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、書写で学んだことを他教科で用いる学習活動について、各学年の『学習を生かして書く』などに例示されている。第1学年では、漢字と仮名の配列について学習したことを活用した、植物観察レポートが例示されている。第2学年では目的に応じて効果的に書くことの活用例として地域の新聞づくりが示され、第3学年では三年間のまとめとしてメッセージカードの作成例が示されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、書写で学習したことを、他の教科や学校行事で用いる『季節のしおり』や『学校生活』が掲載されている。全学年の『季節のしおり』で国語科と関連した名文、短歌、俳句が例示されている。第1学年では『目標を書こう』、第2学年では『壁新聞を作ろう』で職場訪問についてまとめた壁新聞が例示され、第3学年では学校の魅力を冊子にまとめる学習活動が例示されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、情報を整理したノートやレポートの書き方、効果的なメモの書き方などの学習活動が、各学年の基本単元や『書写活用ブック』に例示されている。第1学年『情報を整理した書き方』では理科の実験ノート、『書写活用ブック』では保育園の訪問レポートが例示されている。第2学年では地域の防災訓練の話し合いメモの例などが示され、第3学年では手書き文字の効果などの特徴をまとめる活動が示されている。
三省堂	言語能力の育成について、グループ新聞や情報誌、名言集などの制作や記事を互いに推敲したり、作品を読み合ったりする言語活動が『やってみよう』で例示されている。第1学年『グループ新聞を作ろう』で記事の執筆などの学習活動が例示され、第2学年『情報誌を作ろう』では『わかば探訪』と題し、ふるさとの味を情報誌にまとめる例が示されている。第3学年『名言集を作ろう』では作品を互いに読みあう活動が示されている。
教出	言語能力の育成について、情報を整理してポスターやレポートを書き、相手に応じた内容の伝え方を考える学習活動などが『学校生活に生かして書く』などに示されている。第1学年『ポスターを書く』では作成したポスターでポスターセッションを行う例を示している。第2学年『新聞を書く』では相手に応じた書き方について考える学習が例示され、第3学年『多様な表現による文字』では取材レポートについて例示されている。
光村	言語能力の育成について、硬筆で名文を書いて味わう学習活動として、各学年に『季節のしおり』、書写ブックに『名文を書いてみよう』が掲載されている。第1学年、第2学年の『季節のしおり』では、季節の言葉を硬筆の行書と楷書で書く活動や清少納言『枕草子』の一部を硬筆行書で書いて味わう活動が例示されている。第3学年『名文を書いてみよう』では、松尾芭蕉『奥の細道』を硬筆行書で書く例が示されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、多様な文字文化について示されたコラム『文字のいずみ』が掲載されている。『書き初め』の模範例が示されている。第1学年では『文字の成り立ちと移り変わり』、第2学年では『文字と絵』『書いて味わおう「平家物語」』、第3学年は『仕事の手書き文字』などが示されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、現代まで続く文字の歴史や文化を取り上げた『文字の変遷』や、文字に関わる仕事で活躍する人物の紹介が掲載されている。第1学年では文字の歴史を取り上げ、『仮名の字形と筆使い』では平仮名の歴史と『いろは歌』が楷書で示されている。第2学年では『いろは歌』が行書で示され、第3学年『身のまわりの文字』では手書き文字を仕事としている人物が紹介されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、『文字の変遷』や『日本建築と書』、『芸術としての書道』が掲載され、『書き初め』の模範例が巻末に掲載されている。第1学年では『文字の変遷』、第2学年では『日本建築と書』について『コラム』に掲載されている。第3学年では『芸術としての書道』が巻末に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、書写の道具の製造過程の紹介が裏表紙に掲載され、伝統文化や文字文化については『コラム』や『発展』に掲載されている。巻頭で筆や紙、硯、墨、鉛筆など道具の製造過程が示されている。第1学年の『文字の歴史を探る』や第2学年の『物語を千年書き継ぐ』、第3学年では発展として『なりきり、書聖・王羲之』が設定され、伝統文化・文字文化の豊かさについて示されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、保育園への職場訪問や本のポップの制作などが各学年の『生活に広げよう』に設定されている。第1学年『職場訪問をしよう』では依頼状の書き方などが示されている。第2学年『本のポップを書こう』では話し合い活動、ポップの制作・展示を経て感想を伝え合う活動が設定され、第3学年では身の回りにある案内標識などの文字の目的や工夫を考える活動が設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、書写で学習したことを用いて新聞や情報誌などを書く学習活動が、各学年末の『やってみよう』に設定されている。第1学年と第2学年では書体や文字の大きさを考えて、新聞を作る活動や、楷書と行書を使い分けて地域の魅力が伝わる情報誌を作る活動が例示されている。第3学年では、文字の大きさや書体、筆記具を選んで名言集を作る活動が例示されている。
教出	体験活動の充実について、お薦めの本の帯やポップを、レイアウトや書体を工夫して書く活動などが掲載されている。第1学年では、お薦めの本の帯やポップのレイアウトや書体を工夫して書く活動が示され、第2学年では、文字の大きさや割り付けを工夫して新聞を書く活動が示されている。第3学年では、メッセージカードか未来の自分への手紙を選んで取り組む活動が設定されている。
光村	体験活動の充実について、書写で学習したことを学校生活に用いる活動が示された『学校生活』や『国語』、『私の好きな言葉』が各学年に設定されている。第1学年『学校生活』では、文字の大きさや配列を考えて学級スローガンや個人目標を書く活動が設定され、第2学年『国語』では職場体験の依頼状などや新聞の作成例が示されている。第3学年『私の好きな言葉』では書体や筆記具、用紙を選び、好きな言葉を書く活動が示されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校の書写の復習が設定され、最後の単元に高等学校の芸術としての書道につながる『古典をもとに』が設定されている。第1学年では、冒頭に『小学校の学習を振り返ろう』が設けられている。第3学年『古典をもとに』では、中国や日本の古典作品を掲載し、高等学校での書道の学習内容や高校生の活動が例示されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、冒頭に姿勢や筆の持ち方などを示した『基礎編』が設定され、最終単元に高等学校の書道につながる『書の古典』が設定されている。第1学年では、書写学習時の基本的姿勢、筆記具の持ち方、楷書の文字の書き方などが示されている。第1学年で『文字の変遷』、第3学年では学年末に『書の古典』が設定され『楽毅論』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校の学習内容『基本点画』が設定され、高等学校の書道につながる行書学習の導入として名筆『風信帖』が掲載されている。第1学年の最初の単元に『楷書で書こう』が設定され『基本点画』などについて示され、『行書学習のはじめに』では空海の『風信帖』が紹介されている。第2学年ではコラム『短冊と色紙』が掲載され、第3学年では最終ページに『芸術としての書道』が掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容が示された『学習の始めに』が設定され、高等学校の書道につながる文字の歴史を探る『コラム』などが掲載されている。第1学年では『学習の始めに（姿勢・筆記具のもちかた/字形の整え方）』が設定され小学校の学習を振り返り、『コラム 文字の歴史を探る』では漢字の歴史が示されている。第3学年では高等学校書道につながる『発展 なりきり、書聖・王羲之』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、職場訪問のレポートの書き方などが『書写活用ブック』に記載されている。第2学年では防災訓練のポスターに活用できる情報のまとめ方が例示され、第3学年『現代につながる文字の役割』では年表から文字の役割を読み取る活動が示されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、書写で学習したことを用いて情報を整理し、まとめる学習活動が例示された『やってみよう』が各学年に設定されている。第1学年では、一年間の出来事を文章や写真でまとめたグループ新聞を書く学習活動、第2学年では地域の魅力を伝える情報誌づくり、第3学年では、お気に入りの言葉をテーマにそって集め、名言集にまとめる活動が例示されている。
教出	情報活用能力の育成について、分類メモなどから観察・取材レポートや新聞を書く『学習を生かして書く』などが設定されている。第1学年では、植物の観察結果を分類メモなどを基にレポートにまとめる活動、第2学年では『新聞を書く』で記事を書く時の留意点や筆記具の使い分けなどについて、第3学年では、集めた資料から取材レポートをまとめる活動が例示されている。
光村	情報活用能力の育成について、書写で学んだことを用いて、伝えたいことを整理して書き表す学習活動が『学校生活』などで示されている。第1学年では、情報をひとつにまとめて見やすく書く『目標を書こう』、第2学年では、読みやすさを意識し、文字の大きさなどを工夫する『壁新聞を作ろう』、第3学年では、目的に応じて書体などを使い分けことが示された『文字の使い分け』が設けられている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で筆の動きが表現され、教材ごとに文字を正しく書くためのポイントが示された『書写のかぎ』が設定されている。第1学年の『基本の点画の書き方』では、運筆の様子が筆の絵と擬態語で示され、第2学年の行書学習では2色の薄墨を使って筆の動きとして筆脈が点線化して示され、第3学年では手書き文字の特徴を書く欄の隣に『書写のかぎ』が示されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、筆順に番号をつける、部首を色分けするなどして学習内容が示された『書き方を学ぼう』が各単元に設定されている。第1学年『筆順の変化』では気を付けたい筆順について、筆順を表す番号が青字で示されている。第2学年『楷書と行書の使い分け』では設定場面が絵と文で示されている。第3学年『身のまわりの文字』では文章と写真が資料として示されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、写真やイラスト、番号などを用いて学習の流れが示された『学習の進め方』が巻頭に掲載されている。教材ごとの授業の流れが、全学年同一のマークと言葉で示されている。第1学年では筆圧を3段階の数字とイラストで示されているほか、筆を止める箇所を記号で表している。第2学年、第3学年では行書の省略部分は拡大して示され、イラストと写真で説明されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、半紙大の手本が示されるとともに、毛筆の筆の動きや筆圧が写真やイラストなどを用いて『確かめよう』のコーナーで示されている。第1学年では筆圧と線の太さが3段階の数字で示され、始筆・送筆・終筆が『トン』・『スー』・『トン』という言葉で説明されている。第1学年、第2学年では半紙と同じ縮尺の手本が掲載され、第3学年では、見開き2ページで『三年間のまとめ』全体が掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	学習の見通しについて、左ページに大きな手本、右ページに『目標』『書写のかぎ』『確かめよう』がまとめて示されるなど、単元が見開き2ページで構成されている。第1学年『点画の変化』では半紙と同じ大きさの手本が左ページに示され、右ページに学習事項が示されている。第2学年『行書に調和する仮名』では『いろは歌』が見開き2ページで示されている。第3学年では手書き文字の特徴の記入欄の隣に『書写のかぎ』が配置されている。
三省堂	学習の見通しについて、見開きで構成された右側のページに、学習のポイントが示された『書き方を学ぼう』が設定されている。第1学年『文字の大きさと配列』や第2学年『筆順の変化』では、右ページに『書き方を学ぼう』が文章や図などを用いて示され、左ページに手本が示されている。第3学年『身のまわりの文字』では文字や活字による伝え方の変遷が見開きで示されている。
教出	学習の見通しについて、教材ページは見開きで構成され、写真やイラストでポイントを示した『考えよう』が設定されている。第1学年『いろは歌』、第2学年『深緑』第3学年『創造』では、右ページに『目標』と毛筆の手本が大きく例示され、『学習の進め方』で示された流れに沿って、『試し書き』『考えよう』『生かそう』『振り返ろう』の項目が左ページに配置されている。
光村	学習の内容を焦点化して示した『学習の窓』が設定され、毛筆での学習を硬筆での学習に用いる『書写ブック』が付されている。第1学年『点画の変化』の『学習の窓』ではポイントが朱書き文字と文章で説明されている。第2学年『点画の省略』では『書写ブック』を活用し硬筆で書く活動が例示されている。第3学年では三年間のまとめとして、これまでの『学習の窓』が見開きにまとめられている。

⑩ 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	毛筆と硬筆との関連について、行書を毛筆と硬筆で書いたときの筆順の変化が同じであることを確かめる学習などが『筆順の変化』に設定されている。第1学年『点画の連続』では硬筆の学習をもとに毛筆の学習を進め、終末に再び硬筆での活用課題が設定されている。第2学年『筆順の変化』では、行書を毛筆と硬筆で書いた時の筆順の変化について示されており、第3学年では毛筆と硬筆の目的に合わせた活用について例示されている。
三省堂	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書いて確かめた内容を繰り返し活用することによって、日常の硬筆での書字に用いる『書いて身につけよう』が各単元に設定されている。第1学年では毛筆学習後に硬筆学習に取り組むよう『書いて身につけよう』に示されている。第2学年『点画の省略』では身近な47都道府県名を硬筆で書く活動が示されている。第3学年では毛筆と硬筆の良さを生かした名言集の作成が例示されている。
教出	毛筆と硬筆との関連について、毛筆学習の成果が硬筆学習につながる構成で、『試し書き』（硬筆）、『考えよう』（硬筆・毛筆）、『生かそう』（硬筆）が示されている。第1学年の毛筆学習の成果をほかの文字にもあてはめた例が『生かそう』に示されている。第2学年では毛筆の運筆が、硬筆にも生かせることが示されている。第3学年では、毛筆の点画の連続が、硬筆にも生かせることが示されている。
光村	毛筆と硬筆との関連について、毛筆の学習を用いて、硬筆で繰り返し書く学習活動が、『書写ブック』に設定されている。第1学年『漢字の筆使い』では、教科書教材と同じ学習要素をもつ硬筆課題が『書写ブック』に示され、第2学年『点画の省略』では部首ごとに漢字の省略の特徴を確認できる例が示されている。第3学年では三年間のまとめの『書写テスト』が収録されている。
⑪ 文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	正しい運筆の能力の育成について、基本点画や行書特有の4つの筆の動き（『二』『口』『十』『人』）が、朱墨やイラストで表され『確かめよう』で例示されている。第1学年では、穂先の通り道を朱墨で示すとともに、キャラクターによって穂先の向きが示されている。第2学年では濃淡の墨で筆圧が表され、行書特有の筆の動きはパターン化したマークで示されている。第3学年では手書き文字を仕事にする人々が示されている。
三省堂	正しい運筆の能力の育成について、毛筆の行書での穂先の動きが濃淡の墨で示され、筆脈はイラストで示されている。文字を正しく整えて速く書く仕事の『達人』が紹介されている。第1学年『字形の整え方と筆使い』では穂先の通り道や動きが朱墨や矢印で示され、第2学年『行書に調和する仮名』では仮名の『筆脈』がイラストで示されている。第3学年では文字を正しく整えて速く書く手書き文字や印字に関わる『達人』が示されている。
教出	運筆の能力の育成について、行書の筆づかいや穂先の動き、筆圧などの学習では写真や濃淡の墨、数字、記号などが説明に用いられ、『考えよう』で例示されている。第1学年では、穂先の通るところが濃淡の墨で示され、筆圧は3段階の数字で、筆を止める箇所は黒い丸で示されている。第2学年『初志』では、行書の筆使いのポイントについて、第3学年では点画を変化させて連続して書く様子が絵と写真で示されている。
光村	運筆の能力の育成について、毛筆の行書特有の穂先の動きや穂先の向きなどが、筆の写真や記号、数字などを用いて『考えよう』や『確かめよう』に示されている。第1学年では、穂先の動きが『確かめよう』で朱墨と記号で示され、筆圧は数字で示されている。第2学年『行書に調和する仮名』では行書の『筆脈』が赤い点線で示されている。第3学年では三年間のまとめとして『探究』と『輝ける未来』の二つの課題が例示される。
⑫ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生活に役立てる観点について、行事の案内など知識・技能を活用する学習活動が、『生活に広げよう』や『書写活用ブック』などで例示されている。第1、第2学年『生活に広げよう』では学校行事の案内に必要な情報を縦書きの手紙に書いた例や、地域の防災訓練に関する会議録や防災パンフレットなどが例示されている。第3学年『思いを文字で表そう』では効果的な表現について作品例が示されている。
三省堂	生活に役立てる観点について、書写で学んだことを日常の多様な「書く」場面で用いる『書いて身につけよう』『やってみよう』が設定されている。第1学年『書いて身につけよう』では、縦書きのはがきなどを書く活動が例示されている。第2学年『書いて身につけよう』では、47都道府県名や名文を硬筆で書く活動が設定されている。第3学年『名言集を作ろう』では好きな言葉を選び名言集を作る活動が例示されている。
教出	生活に役立てる観点について、書写で学んだことを用いる『学習を生かして書く』などが設定され、日常で使う手紙などの書式が巻末の『書式の教室』に示されている。第1学年ではノートの書き方のポイントが示され、手紙の書き方は巻末の『書式の教室』で示されている。第2学年『学習を生かして書く』では掲示物など日常で活用できる例が示され、第3学年『三年間の学習の成果を生かそう』では文字の表現効果が示されている。
光村	生活に役立てる観点について、手紙や送り状の書き方など、学校での生活や日常生活で用いる例が掲載され、そのポイントが『日常に役立つ書式』に示されている。第1学年では一年間の学級スローガンや個人の目標を書く活動が設定され、第2学年では行書を活用した立て看板や応援旗などが例示されている。第3学年では、好きな言葉を書体や筆記具、用紙を選んで作品にする活動が示されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学年ごとの学習内容が掲載されたページと、常用漢字表や行書の部分の形などや、日常生活で役立つ手紙や新聞、リーフレットなどの書き方を例示した『書写活用ブック』で構成されている。また、『書写力アップ』には実際に書く場面が示されている。
三省堂	学年ごとの学習内容が掲載された『本編』と社会生活で役立つ『日常の書式』、楷書・行書一覧表などが掲載された『書写の広場』などの『資料編』とで構成されている。『日常の書式』では学習場面や社会生活で役立つ手紙の書き方や時候の挨拶などが例示されている。
教出	学年ごとの学習内容が掲載されたページと、日常生活で用いる手紙の書き方などが例示された『書式の教室』などの資料ページで構成されている。『書式の教室』では、都道府県名一覧表や時候の挨拶、基本的な手紙や年賀状、往復はがき、エアメール、願書、小包伝票の書き方などが掲載されている。
光村	楷書、行書、文字の使い分け、日常の活用、漢字字典などの「教科書」本体と、硬筆書写の「書写ブック」の2分冊で構成されている。学年で段階的に学習する配列となっている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
三省堂	判型はB 5判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
光村	判型はB 5判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『ゴシック体には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
三省堂	『この教科書は、ユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『画数や筆順が正確に理解できるように配慮した書体を、本文に使用しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを、ゴシック体に使用しています。』と表記されている。
光村	『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。』『生徒の学習負担を軽減できるよう、手書き文字との差異が少ない書体を開発し、使用しています。』『目次や小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	43ページ 『年賀状を書く』の都道府県名に『神奈川県』
三省堂	56ページ 『四十七都道府県名』に『神奈川県』 72ページ 横濱毎日新聞
教出	82ページ 『新聞を書く』に『横浜みなとみらい新聞』 95ページ 美術館展示室（横浜市） 96ページ 小机城（横浜市） 103ページ 『都道府県名一覧表』に『神奈川県』
光村	92ページ 鎌倉大佛（鎌倉市） 110ページ 『手紙の書き方（縦書き）』に『小田原市立北山中学校』 112ページ 『手紙の書き方（横書き）』に『小田原市立北山中学校』 115ページ 『都道府県行書一覧』に『神奈川県』 書写ブック 24ページ 『都道府県名を練習しよう』に『神奈川県』

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名						
東書	有					
三省堂	有					
教出	有					
光村	有					

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	重量(g)				
東書	1	324				
三省堂	1	254				
教出	1	304				
光村	1	290				